

鍾 意

ZHONG Yi



共存関係

UV 樹脂、ガラス、石粉粘土、MC 画材用紙ロール、布、糸、モニター

## 共存関係

「人間と自分と違った生き物の共存関係」

人間と自分と違った生き物の共存関係というテーマの中で、人々と金魚の共存は最も普遍的な現象です。中国の歴史記録によれば、約 3000 年前、人は既に金魚を飼育し始めていました。現代の中国では、特に“一人っ子”政策の影響を受けた兄弟がいないの私は孤独を感じています。そして今、海外での留學生活で限られた資金と時間に制約を受けながらも、金魚は私にとって一緒に生活する最良の選択となっています。

そのため、私は長い間観察し体験してきた私と金魚の共存関係を視覚化しました。

本研究では、三つの視点を通じて、人間と金魚の共存関係を表現しています。

(1) 人間と金魚のコミュニケーションを視覚化

金魚鉢の存在により、人間は金魚とのコミュニケーションができます。人々は金魚鉢の口に向かって中の金魚に息を吹きかけ、金魚も泡を吹いて答えます。お互いに泡を吹いている感じが話しているようです。

そこで私は、人がシャボン玉を吹いた泡の形をモチーフにして、新しい金魚鉢をデザインしました。

(2) 人の視点から見た金魚の印象を視覚化

共存することで、人と金魚はお互いに違う認識を持つようになります。私は人と魚という二つの視点でイメージして、相手がどう見えるかをデザインしました。

私たちは本当に金魚を生き物として見ているのでしょうか。私は時々そう思います。それとも、人間は金魚と同じ癒しのものでしか見ていないのでしょうか。

そのため、私は金魚を一般的で手に入りやすい癒し物と組み合わせ、デザインしました。

(3) 金魚の視点で人間はどのように見えるかを視覚化

金魚の記憶力はとても短いからです。金魚にとって、毎日の私はすべて違うあなたです。一人一人の私が金魚の目には奇異で多種多様に映るということで、デザインしました。

これらの三つの視点からの作品を通じて、私は人が異なる生物との不均衡な共存関係に気づいてほしいと思います。もし人が異なる生物と共存したいのであれば、ぜひ責任を持って、金魚も生命であることをしっかりと意識して願います。